

The Ties of Friendship

Tsuchiura International Association
会員数 個人/115 団体/13 法人/17

Vol. 55
2025. 9. 30
(令和7年)

CONTENTS【目次】

- 1 パロアルト市中学生受入
- 2 中学生交換交流事業(特集・番外編)
- 3 Pick Up!～前期事業より～
- 4 Information～お知らせ～

令和7年度 中学生交換交流事業

姉妹都市パロアルト市から中学生が来日しました！



令和7年6月14日(土)から22日(日)の日程で、姉妹都市アメリカ・パロアルト市から中学生10名、引率者2名の合計12名が土浦市を訪れました。滞在中は、土浦市の中学生宅にホームステイしながら中学校への学校訪問や、座禅などの日本体験などたくさんの活動を行い、お互いの交流を深めました。来年3月には、土浦市からパロアルト市への中学生派遣を予定しているので、交流が今まで以上に盛り上がることを期待しています。



ドキドキワクワク歓迎会！



由緒ある向上庵で日本文化体験！



O・MO・TE・NA・SHI

★そもそもパロアルト市との交流の始まりは・・・？

平成5年、旧新治村の御田寺村長(当時)が、村内に進出したパロアルト市に本社のあるSyntex社に働きかけ、同市在住社員の家庭に中学生12名がホームステイしたことに始まります。その後、パロアルト市内の中学校で日本語を教える湯浅先生の協力を得て、現在も続く交換交流事業の形が作られました。以降、パロアルト市側の日本語教師の異動やSyntex社の撤退など、事業を取り巻く環境は幾度も変化しましたが、御田寺村長をはじめとする旧新治村職員の尽力により交換交流は続けられました。平成18年に土浦市と合併した際、土浦市はパロアルト市との交流を継続する判断を下し、パロアルト市では、当時日本語教師をされていた中島先生や旧新治村時代から交流事業に携わっていたホストのご家族や生徒たちの力添えのもと、Neighbors Abroadを通して、「土浦市との交流事業を主体とする姉妹都市としての提案」をパロアルト市議会に提出することになりました。そして、平成21年3月、ちょうど土浦市の中学生たちがパロアルト市議会を訪問していたその場で、Neighbors Abroadによる姉妹都市の提案が、パロアルト市議会で満場一致で可決され、同年4月7日、両市は姉妹都市を締結しました。



中学生交換交流事業の仲間とケンブリッジで再会！
(右が大屋さん)

【R5・6年度参加者 大屋 諒さんからの寄稿】

「国際社会への第一歩を踏み出したい」。その一心で、私は土浦市中学生交換交流事業に参加しました。現地での生活はとても刺激的で、毎日が新しい発見の連続でした。しかし、最も大きな気づきは、外から日本を見ることで、新たな素晴らしさを発見できたことです。当たり前だと思っていた日本食の美味しさや、日本の学校教育が、今の日本を築き上げてきたのだと実感しました。日本の中には気づくことができなかつた魅力や価値観に、沢山出会うことができましたと思います。こうした貴重な経験は、私の視野を大きく広げてくれました。高校生になった今、私は政治部や「茨城 frogs」などの課外活動に参加し、自分の「好き」を追求しています。交流事業が、今の私の原点です。英語力に自信がなくても大丈夫です！大切なのは、英語を話したいという思いをもって応募することです。勇気を出して一歩踏み出せば、自分のまだ知らない世界が待っています！



日が暮れるまでピクニックボールを楽しむ！

中学生交換交流事業 番外編



青木会長のパロアルト体験記

正式な姉妹都市締結から15年、青木会長がR6年10月に現地を訪れました。会長の目から見たパロアルト市とは…？

Q. 今回の訪問はどのような経緯で実現したのですか？

一平成21年に姉妹都市を締結してから、5年ごとに交流行事を行っているんです。5年前の10周年はパロアルト市の関係者を土浦にお招きしたので、15周年の今回はパロアルト市を訪問する順番だったわけです。会長に就任したところでしたので、協会を代表して、パロアルト市での姉妹都市締結15周年記念パーティーに参加してきました。

Q. 姉妹都市締結15周年という節目を迎えてどのように感じていますか？

一旧新治村の中学生交換交流事業から始まり、このような交流が続けられているのは、ネイバーズアブロードや現地の窓口である国際交流団体ネイバーズアブロード前副会長の中島敬子先生など、周囲の手厚いサポートがあってこそだと思います。パロアルト市と土浦市の交流は、これからも大切にしていかなければと改めて強く感じました。

Q. 現地ではどのような行事や交流がありましたか？印象に残っているエピソードなどあれば…

一印象的だったのはスケールの違いですね。ネイバーズアブロードも我々協会とは全然違います。大学でのアメリカン・フットボールの試合もまるでプロのようなスタジアムで開催していたりするんですよ。そのスタジアムで土浦市を歓迎するメッセージが表示されたときは驚きましたが…このスケール感はずいぶん現地を訪れて感じていただきたいですね。

パロアルト市は素晴らしい街です。協会員のみならずぜひ一度訪れてみてください！



記念祝賀会にて》

《JLS中学校で記念植樹！



パロアルト市庁舎前にて

ネイバーズアブロードについて詳しくはこちらから！

Facebook <https://www.facebook.com/cityofpaloalto/>

HomePage <https://www.paloalto.gov/Home>



Pick Up! ～前期事業より～

〈令和7年度総会〉

令和7年5月22日（木）に土浦市社会福祉協議会講義講習室にて、令和7年度総会を開催しました。昨年度の事業・収支報告と、今年度の事業計画・予算案が認められました。

〈令和7年度第1回合同部会〉

令和7年7月3日（木）に土浦市男女共同参画センター研修室2にて、令和7年度第1回合同部会を開催しました。各部会ごとに、今年度の活動内容について話し合いました。

〈かすみがうらマラソン姉妹都市選手招待〉



中学生交換交流事業の仲間と
完走後のオーエンさん

「かすみがうらマラソン2025」にパロアルト市からの招待選手として、4月16日（水）から21日（月）までの期間、オーエン・ピティンガーさんが来日され、フルマラソンを無事に完走しました！

滞在中は、土浦二中の授業見学や給食を体験したり、柴沼醤油を見学したり、向上庵を訪れて日本文化を体験するなどしました。マラソン当日は、令和7年3月に交換交流事業でパロアルト市を訪れた派遣生たちが応援に駆け付けました。オーエンさんは8月18日（月）にパロアルト市議会にてかすみがうらマラソンの報告をされました。

〈キララまつり セタおどり参加！〉



おそろいの浴衣で集合写真

今年も土浦の夏を彩る「土浦キララまつり2025」が8月2日（土）から3日（日）にわたり、盛大に開催されました。当協会は日本語教室の生徒やアール医療福祉専門学校の留学生、JICA筑波の研修員を中心とした約60名からなる「世界なかよし連」として2日（土）のセタおどりに参加しました。おそろいの浴衣を着て笑顔あふれる楽しい踊りを披露しました。

令和7年度後期主要事業予定

☆JICA筑波センター訪問

令和7年10月31日（金）

@ JICA筑波センター

施設見学や研修員との夕食会交流を行います。

☆初級日本語講師養成講座

令和7年10月4日（土）～12月13日

（土）

全10回

@ワークヒル土浦

外国出身者への日本語の指導方法を基礎から習得し、ボランティアとしての活動を目指す講座です。

☆日本語ボランティアレベルアップ講座

令和7年10月20日（月）、27日（月）、

11月4日（火） 全3回

@一中地区公民館

現在日本語教室でボランティアとして活躍中の方方を対象に、より実践的な「レベルアップ講座」を開催します。

☆海外ボランティア活動報告会

令和8年1月24日（土）

@ワークヒル土浦

JICA海外協力隊の帰国隊員から体験談をお話いただきます。

☆地域ふれあい事業

令和8年2月8日（日）

@一中地区公民館

日本人と外国人と一緒に料理を作り、楽しみながら生活に役立つ講座を学びます。

☆中学生交換交流事業

～パロアルト市派遣～

令和8年3月14日（土）～23日（月）

@アメリカパロアルト市

土浦市の中学生がパロアルト市で

ホームステイを行います。

☆新規会員募集中☆

当協会では、国際理解・国際化推進のため、各種交流事業や講座など、さまざまな活動を行っています。特に新しい感覚と活動力をお持ちの方を求めています。ぜひお気軽にお申込み・お問い合わせください。

■年会費：個人3,000円／団体・法人 10,000円

☆国際交流ボランティア募集☆

あなたもボランティアとして国際交流に参加してみませんか。通訳・翻訳、ホームステイ・ホームビジット受け入れ（家庭でできる、小さな交流）、イベントなどお手伝いをしたいという方（語学ができなくても大丈夫！）は、登録をお願いします。また、お近くに日本語が話せる外国人の方がいらしたら声をかけていただけませんか。お待ちしております。

編集後記

編集後記

今年は雨天が少ないままの梅雨明けとなってしまいました。おかげで(?)来日していたパロアルト市の中学生たちは(暑さ以外は)過ごしやすいかったことと思います。後期も様々なイベント・講座が控えていますので、みなさんぜひご参加ください！

編集：照屋孝明、石井すみ子、稲本創、横田泰幸、稲本修一、石川一幸、伊東博幸、入沢弘子、海老坪正子、大森美保、関頭広晃、JA水郷つくば、(株)いなもと印刷、(有)アルヴィス、(株)メモワールしおん

(事務局)大貫、大関、中泉、荒木、渋谷、藤村

発行：土浦市国際交流協会

〒300-8686 土浦市大和町9番1号

☎029-826-9051 ✉kokutab14@city.tsuchiura.lg.jp



土浦市国際交流協会

検索